

都筑区自立支援協議会

精神部会

令和4年度年間活動報告

【部会・幹事会開催状況】

部会開催回数 3回 幹事会開催回数 11回

【年間テーマ】

「チャレンジ出来る生活 選べる人生 体験出来る地域」

【幹事】

- 都筑区生活支援センター ころろ野 七井氏、笹島氏
- 地域活動支援センター amolir (アモリール) 小菅氏
- 訪問看護ステーション みよみよ看護 松田氏
- つづき障害者後見的支援センター リリーフ・ネット 高柳氏
- 都筑区役所 高齢・障害支援課 辻氏
- 都筑区基幹相談支援センター 齋藤、坂本

【第1回：令和4年5月31日 参加者：38名】

■タイトル

「どこで暮らす？誰と暮らす？いつから暮らす？
～『住まい』について考えよう～」

- 「西区障害者生活体験事業」についての発表や、実際に利用された方の感想をお聞きし、「都筑区であればどのような資源（体験）があると良いか？」をテーマにグループトークを行いました。

【第1回目の部会を終えて】

- 単身生活のイメージ作りとしての体験の場の必要性を、多くの参加者が感じていた。
- 「都筑区ではどんなことが出来るか」については、イメージが付きづらい参加者が多かった。

⇒各関係機関がどのような事業を行っているのかを知る事が大事ではないか。

⇒「都筑区」だとイメージが付きづらいため、「自分の事業所でどんなことが出来るか」であれば意見が出やすいのではないか。

【第2回：令和4年9月29日 参加者：27名】

■タイトル

「地域での生活を考える
～退院サポートの流れから～」

- 退院サポート事業の説明を通じ、退院～地域生活に至るまでの流れの確認と、地域生活の中で利用されることの多い社会資源の紹介動画を見て頂き、「どんな資源があると良いか」「自分達の事業所で出来そうな事」をテーマに意見交換を行いました。

【第2回目の部会を終えて】

- 退院サポート事業や退院までの流れや、地域生活を送る中で、どのような社会資源を利用しているのかについて知ることが出来て良かった、と感じて下さった参加者が多かった。
 - 今回の部会に合わせて作成した社会資源の動画について様々なご意見を頂くことが出来た。
- ⇒ 普段あまり関わりのない事業所や事業について、具体的に知る機会があると良いのではないか。
- ⇒ 社会資源とどの様に繋がって行ったらよいのかをわかりやすく出来ると良いのではないか。

【第3回：令和5年1月24日 参加者：35名】

■タイトル

「地域と医療の連携について」

- 当事者の方の地域生活を支えるにあたり、医療側から見た地域との繋がりについて、リンクスマンタルクリニック中村氏にお話し頂き、その後グループトークにてより良い連携に繋げて行くための意見交換や、各事業所での医療機関との関わりを共有しました。

【第3回目の部会を終えて】

- 「精神科医療機関におけるSWの役割や動きを知ることが出来た」との感想を多数頂いた。
- 医療と地域で連携して行く事や、お互いの役割を理解する事の大切さを実感された参加者が多かった。
- 地域と医療がお互いに顔を合わせて意見交換をする事の大切さについても多数の感想を頂いた。

⇒今後も「地域と医療の繋がり」をテーマにした部会を開催出来ると良いのではないか。

⇒「地域と医療の繋がり」のどの部分に焦点を当てて行くかを考えて行く必要がある。

【次年度に向けて①】

3回の部会を通じて、参加者の皆様から多くの貴重なご意見やご感想を頂きました。

頂いたご意見やご感想につきましては、今後の精神部会の取り組みに反映して行ける様に幹事会の中で共有しております。

次年度も年3回の部会開催を予定しており、部会設置の目的である「精神障害をお持ちの方も地域の一員として自分らしく暮らす」が実現出来る様に、引き続き取り組みを進めて参りたいと考えております。

【次年度に向けて②】

- 当事者の方々と地域の方々がお互いを理解し、支え合えるような関係（共助）の構築に向けた取り組みを行います。
- 医療と福祉のより良い連携に向けた取り組みを継続して行います。
- 精神障害者にも対応した地域包括ケアシステム構築に向けた取り組みを継続して行います。
- 当事者の方の部会参加を引き続き進めて参ります。



令和5年度も引き続き
どうぞよろしくお願いいたします。